

げんき・にこにこ・健康こらむ

シリーズ 乳幼児の事故防止

『9月9日は救急の日です！』

1歳から9歳の子どもの死亡原因は、「不慮の事故」がトップです。
特に0～4歳児の不慮の事故による死亡は、本来安全な家庭内で多く起きています。この機会にもう一度家庭の中を、見直して見ましょう！

- * 玄関、廊下.....転倒、転落
- * ドア.....はさむ、打撲
- * 階段.....転落事故など
- * リビング.....たばこ・灰皿（誤飲）、暖房器具（やけど）、コード（窒息）
扇風機・ビデオの挿入口（はさむ）、テーブル（打撲）
ガストーブの元栓（ガス中毒）、コンセント（感電）
- * キッチン.....ガス台・鍋・炊飯器・ポット（やけど）、包丁・食器（切り傷）
テーブル（打撲・やけど）、熱い食べ物・汁（やけど）
- * 洗面所.....洗濯機・バケツ（溺水）、洗剤（誤飲）、カミソリ（切り傷）
洗面器（溺水）、お湯（やけど）、石鹸・シャンプー（誤飲）
- * 浴室.....浴そう（溺水）
- * 寝室.....ベビーベッド（転落・窒息）、化粧品（誤飲）、寝具（窒息）
- * ベランダ、窓...窓・ベランダの幅広い柵（転落）、サッシ（はさむ）、ガラス（切り傷）



『救急の日』って？

9（きゅう）と9（きゅう）で「きゅうきゅうの日」、すなわち「救急の日」です。

「救急の日」は、昭和57年に救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的とし「救急医療週間」とともに定められました。以来、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間を「救急医療週間」として、全国各地において応急手当の講習会を中心とした救急に関するさまざまな行事が実施されてきました。

病気やケガ、事故などは、時間や場所を選ばず、ある日突然襲いかかってきます。いざという時に備えるためにも、普段から落ち着いて正確な通報ができるよう心がけましょう。

また、救急車が現場に到着するまで平均で約6分かかります。その間に、適切な応急手当を行えるか否かが傷病者の生死に大きな影響を与えることとなります。

突然の事故などから身近な方々の尊い生命を救うため、「119番通報と応急手当の方法」、「かかりつけ医療機関」や「緊急時連絡先」などについて日頃から話し合っておきましょう。

119番へ電話するとき

（救急の場合の例）

消防（以下消）：火災ですか？救急車が必要ですか？

通報者（以下通）：救急車をお願いします。

消：発災場所の住所と名称、患者さんの氏名、年齢を
言ってください。

通：下野市の ですが、私の父の 80歳が
けがをしました。

消：目標物を言ってください。

通：目標は、××小学校の北側です。

消：どのような状況なのかを言ってください。

通：階段から落ち、右腕を骨折したようです。

消：あなたの氏名と、今使っている電話番号を
言ってください。

通：私は です、電話番号は000000です。

かかりつけまたは希望する病院がある場合は、救急車が到着するまでに病院に連絡をとっておいてください。円滑に病院へ搬送することができます。

おぼえておこう 救命手当

- ・肩をたたきながら声をかける（意識の確認）
- ・返事がなかったら大きい声で協力を求める
- ・呼吸をしやすくする（気道確保）
- ・呼吸の有無を調べる
- ・呼吸を感じなかったら、鼻をつまみ、ゆっくり1回息を吹き込む（人工呼吸2回）
- ・心臓の拍動の状態を調べる（循環のサインの確認）
- ・循環のサインがなかったら心臓マッサージ（圧迫の後、人工呼吸を2回行う、この動作を救急車が到着するまで行う）
- ・救急車到着